

介護保険とは⑥

今回は前回に続いて在宅サービスの一つである、訪問看護をご紹介しますいただきます。

訪問看護とは、病気・けが・加齢により在宅で看護を必要とする方を、訪問看護ステーションや医療機関の看護師などが訪問し、主治医と連絡をとりながら療養生活を支援していくサービスです。病気や障害があっても、可能な限り住み慣れた家・地域で安心して暮らすために重要な役割を担っています。

では、具体的にその内容を見ていきましょう。
○病状の観察と情報収集：身体状況から生活環境等あらゆる情報に基づき看護を提供します。

○療養上の世話：食事・排泄・清潔・移動・衣服の着脱など、自立して自分自身でできない生活上の機能を援助します。

○診療の補助：医師の指

示により、服薬管理・床ずれの手当てなどの医療処置を行います。

○精神的支援：本人・家族との信頼関係を元に、悩みの相談に応じます。

○リハビリテーション：理学療法士・作業療法士と連携して行ったり、入浴介助や排泄介助などの援助そのものがリハビリテーションになったりします。

○家族支援・療養指導：介護負担を軽減するための支援や、介護方法・医療処置の方法を指導します。

ところで、療養上の世話などは「訪問介護」と同じ様にも思えますが、血圧・脈拍などで健康状態をチェックしてからケアに入る点が違います。また、病状が急変した場合にもより適切な対応がとれます。大きな違いは、看護師であるための医学的管理ができる事です。つまり、訪問介護は、家事や介護などの日常生活を支援し、訪問看護は前者では行き届かない医療的ケ

アの部分の支援します。両者は協力関係にあるといえます。

最後に訪問看護には医療保険で行われるものもあります。要介護認定を受けた方は介護保険で行うのが原則ですが、末期がんや難病患者などの場合は、医療保険での利用になります。詳しくは当院のスタッフにお尋ね下さい。

(介護保険委員会 谷夏央里)



長寿のヒ・ケ・ツ



当院も開業して早13年目となり、地域の皆様に支えられここまで頑張ってきました。開業当時からずっと利用して頂いている患者様もたくさんいらっしゃいます。若い方からご年配の方まで年齢層はさまざまです。そこで、当院での年齢層を調査したところ、下は10歳未満、上は99歳の方まで来院されていました。(グラフ下記参照)

中でも70歳以上の方を中心に多く来院されており、その方たちの中には「まだまだ足腰は大丈夫だ」と自転車や徒歩で来院されている方もいます。待合室では大きな声で笑って世間話をされている方もいて周りの方を和やかな雰囲気にして下さいます。

そこで90歳以上の方々に長寿の秘訣をお伺いしました。結果は右のとおりです。やはりこうしてみると、自分の好きな事をし、好きな物を食べ、誰にも気兼ねすることなく過ごすのが一番よいライフスタイルのようです。それにはご本人たちの意思を尊重して下さる家族の協力もあってこそ達者に過ごせるのではないのでしょうか。

働き盛りの方が、達者で長生きをされたいのであれば、健康第一で、お酒・タバコ・暴飲暴食に気を付け適度な運動を心がける事が大切です。一日一回おなかの底から笑う事も健康にいいと思いますよ！(^-^)

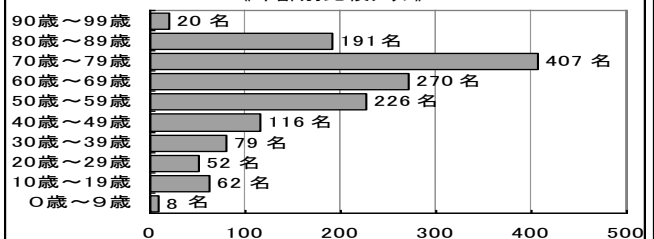
これからも皆様の健康維持のお力になれるよう職員一同頑張っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

(接遇改善委員会 背野有加里)

長寿の秘訣は何でしょうか？

- ・毎日、新聞を3紙ほどと、雑誌を読むようにしています。(92歳女性)
- ・何でも食べ、適量を心がけています。コーヒーが好きですが調子の悪い時は飲まないようにしています。(92歳女性)
- ・昔からお肉が好きでよく食べていました。(92歳女性)
- ・家では気兼ねせず好きなようにしています。(92歳女性)
- ・毎日家事で体を動かしています。(91歳女性)
- ・折り紙、手芸など手先をよく使うようにしています。(90歳女性)

《年齢別比較グラフ》



曾山医院

胃腸科・外科・内科・肛門科

☎656-2131 兵庫県淡路市志筑1391-9 ☎0799-62-5566

編集委員会

岡崎博子 背野有加里
荷出真巳 赤松陽子
西岡博子 細嶋成氏
(協力)ピーシー・クリック